

遺る声明を謳って 歌詞 (BPM75)

騒ぎ立つ無音が伝う  
悴んだ思考も揺らぐ  
足先に溺れながら  
息を呑み込む

咽せ返る毒が咲いて  
饑える様な喉を閉めて  
空白を塗りつぶして  
意味を透かした

縋り付く宛も無くて  
倒れ込む 部屋の隅で  
横向きの世界に酔って  
暈す視界の

脳裏には未だ癒えぬ  
赤色がこびり付いて  
邪魔をする 痛みからは  
君の叫び声がさ 締め付けてく

愛していたいな全部  
今も過去も  
哀して痛い全部  
劈く様に

そうして君は全部  
目を瞑って  
心の中に  
塞ぎ込んでしまったの

依然まだ気温変わらず  
朦朧と息を続け  
手探りで壁を這って  
いつまでも探している

閉じた目で探している  
温もりを探している  
夜の奥 探している  
いつまでも探している

両の手を伸ばしてはさ  
一握に届かないな  
想像に耽るほどに  
もう全て全て終い わかっていた

愛していたいよ全部  
嘘も本当も  
哀して痛いよ全部  
無音に融けて

愛していたんだ全部  
日常すら  
哀して傷んだ全部  
見つめられずに

そうして君は全部  
受け止めては  
溢れ出す様な  
感情掬ってさ

そうして君はやっと  
飲み干してさ  
部屋に遺る  
声明を謳っていくってさ